

我孫子市消費者の会

お知らせ

2022年10月19日 第48期 No. 7-555

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.net/wp/>

先月のお知らせで、「秋は、行事が多くなります。どうぞご参加くださるようお願いいたします。」と書きました。11月もご参加をよろしく願っています。

11月 定例会

日時 11月7日(月) 13:30~16:00
会場 我孫子南近隣センター8階第1会議室
テーマ 11月19日(土)に行なう
神山美智子弁護士の講演について
役割分担 他

12月 定例会

日時 12月5日(月) 13:30~16:00
会場 我孫子南近隣センター8階第1会議室
テーマ 秋の各種行事の感想他

神山美智子さんの講演会

食品の表示をしっかりと見よう

～消費者の知る権利・選択の権利～

日時 11月19日(土) 13:30~15:30
会場 我孫子南近隣センター9階ホール
申込 先着80人
スリッパ持参

10月16日の広報に掲載されました。10月の定例会にご出席の方は、申込み済みです。チラシが来ていますので、配布します。お友達をお誘いの上、ご参加ください。

また、神山弁護士は小冊子を11月に発行されます。会員の方には、11月のお知らせと共に、無料で配布出来るようにしたいと思います。たぶん500円のもので。じっくりとお読みください。

10月は値上げラッシュ！！

毎日のテレビでも報じられていますが、電気料金、ガス料金等は値上げの予定だったものが、一時延期されました。でもこれはあくまでも一時的なもので、いずれ値上げになるのでしょうか。

あるスーパーでは食品が800品目も値上げになると報じられています。食品ばかりでなく、家電もゲームも子どもが遊ぶおもちゃ、人形なども・・・。

これらの話の中で、値上げがあっても給料が上がれば経済の発展にもつながるのだから良いのだが・・・というような話もありました。経済オンチの私には良くわかりませんが、年金受給者は、どうなるのでしょうか？

経済が活発になっても、すぐに年金が増えるわけではありません。政治家も経済関係者も学者も、年金生活者のことは考えてはいないようですね。

年金の支給が少なくなるというような話も出てきました。賢く生きるのも大変です。

靈感商法について

安倍元首相が暗殺されて、その犯人が、母親が世界平和統一家庭連合に多額の寄付をしたことで、安倍元首相(関係していると思い)を恨んでの犯行だったと述べました。

この団体の支部のようなものがかつて我孫子にもあったようです。靈感商法の相談はその頃の消費者センターにも数多く寄せられました。これからは手を変え品を変えてくるでしょう。皆で気をつけていきましょう。

減らそう！超高齢社会の

「不安」と「困りごと」イベント終了

10月15日に、消費者の会も参加している高齢社会への対応を探る会のイベントとして、上記の会がけやきプラザのふれあいホールで開催されました。23の我孫子の団体が参加している会です。

今年度は順番で、我孫子市消費者の会が会長を務めています。基調提案として我孫子市の高齢者支援課 相談係長の松本拓馬氏から「人生100年時代の相談支援～多様化するニーズへの対応～」と題して話していただきました。

我孫子市の人口のうち、2022年4月の高齢者率65歳以上**30,8%**、うち75歳以上**55,4%**、独居者数**24,5%**という数字を先ず示し、この構造が我々の生活に**どんな影響**があるのかと問い掛けられ、話を進めていかれました。

課題として挙げられたこと

- ①**2025年問題** (第1次ベビーブーム世代が75歳以上に)
- ②**2040年問題** (第2次ベビーブーム世代が65歳以上に)
- ③**結婚・出産年齢の高齢化** (出生率は低下)
- ④**ダブルケア** (子育てと介護が同時にやってくる)
- ⑤**老々介護** (主な介護者の3割は配偶者)
- ⑥**独居高齢者の増加** (変化に気づける人がいない)
- ⑦**孤立死** (死後何日も発見されない)
- ⑧**8050問題** (高齢者の年金に依存する子ども)
- ⑨**預貯金の減少** (長い老後を生き抜く備えが必要)

☆長生きはめでたいけれど、その分、不安もいっぱい。この課題をどうやって少なくしていたら良いかを松本さんが続けて語られました。

「ケアの社会化」

- ◎ケアは家族だけの問題ではない
- ◎みんなの問題 (社会的な問題) である

対策① 支援困難事例が増加

福祉の相談窓口は「高齢者・障害者・子ども・母子・DV/生活困窮者・生活保護」と分野や対象ごとに分かれている。これらの対象にあてはまらないので、今までの相談支援では、スキマが生まれてしまう。

対策② どのように把握し、どう繋げるか

- ・市の出来ること (独居高齢者訪問など)
- ・企業の出来ること (見守りサービスなど)
- ・市民活動 (地域の見守り活動)
- ・官民協働の取り組み (孤立死防止対策事業)

対策③ 「家族が担ってきたケアを誰が？」

(地域や市民団体に期待する4つの活動)

- ・見守り活動
- ・つながりと参加
- ・ささえあい
- ・学びあい

安心・安全な地域を作るためには家族だけではなく、地域や社会の課題としてみんなで作って行くことが必要でしょう、と締めくくられました。

この後シンポジウムとして、4人のパネリストがそれぞれの活動から話しました。

なお、松本さんは10人くらい集まれば、どこへでもお話に行ってくださいますので、計画し、広めてください。 和田三千代 まとめ

～ ～ ～ ～ ～

冒頭に秋は行事が多いと書きましたが、千葉県消費者団体連絡協議会も兼務しているので、千葉での会議へ行くことも多くあります。その他、視覚障害の方のための音訳ボランティアを消費者の会より先に始めていました。今年松戸朗読奉仕会(我孫子に来る前から)が50年になったので、冊子を作ったり、1冊の本を地区の勉強会の会員が分けて音訳したり……。人生ひま無しの状態です。でもそれが健康に生きることに繋がっていると思っています。

コロナは下火になったかと思うと、また繰り返し・・・を繰り返しています。

皆様 どうぞお元気でお過ごしください。